

大分県臼杵市「人口が縮小しても、日々の暮らしが心豊かで充実した地域づくり」

【自治体概要（R4.4.1現在）】

人 口	36,608人
高 齢 化 率	41.56%
日常生活圏域数	1圏域

- 従来の保健福祉セクションに加え、令和4年4月に地域力創生課を新設し、自治会など多様な地域活動を含んだ地域運営組織（RMO）である「地域振興協議会」の活動サポート、空き家・空地バンクなどを活用した移住・定住の促進、医療・介護・福祉といった暮らしの支援体制の充実に取り組み、人口が減少しても安心感と将来に希望が持てるまちづくりを推進している。
- 分野を超え、どこに相談しても、適切な支援につながっていく体制づくりを目指し、専門分野や職種等の立場を超え、現状を捉えて将来を見据えながら、一緒に考えていくプロセスを共有（参画と協働）できる「うすきプラットフォーム」を令和4年4月よりスタートしている。

【取組経緯等】

- 今後の人口減少の課題に加え、85歳以上の人口の増加と生産年齢人口の急減を踏まえた施策の展開が求められており、複合化・複雑化した課題への支援ニーズに対応し続けるための体制整備が急務。世代や属性ごとに整えられてきた制度を延伸していくことには限界があり、これまで以上に多機関・多職種の協働体制を強化する必要があった。
- 臼杵市における「地域力創生」とは、人口減少社会においても、「地域力（地域の様々な人が協力し合い、身近な課題を解決していく力）」を活性化していくことを指している。

【取組の内容①】

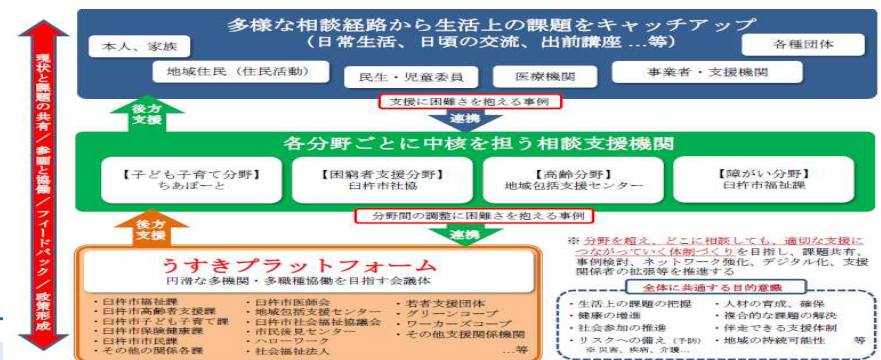
- 関係者をつなぎ合わせ、安心して暮らせる支援環境の構築
- 「地域振興協議会」を通じた地域コミュニティの活性化
 - 少子高齢化、人口減少の対策の一つとして、地域活動の中心を担っていく組織として「地域振興協議会」が旧小学校区18エリア全てに設置されており、その活動を継続的に支援していくことにより、地域内で支え合い、助け合う環境づくりを進めている。

- 空き家・空地の活用支援により移住や定住を促進し、地域全体の環境の活性化



【取組の内容②】

- 「うすきプラットフォーム」を起点とした多機関・多種連携の強化
 - 日頃の「気づき」が多様な経路から相談につながり、分野立場を超えて関係者全体が「一つのチーム」として、機能し、人口減少が進んで「安心して、心豊かに暮らせる臼杵市」を目指している。
 - 毎月のプラットフォームの概要については、臼杵市社会福祉協議会ホームページに掲載し、より多くの関係者との共有を図っている。



今後の展望等

- 臼杵市でともに暮らす市民が、多様性を認め、受け入れ、それぞれの人が力を発揮できる地域共生のまちづくりに取り組むことで、臼杵市での暮らしを構成する多様な主体が目指す方向性を共有し、また、参画と協働を重視することにより、行政、医療・保健・介護・福祉、教育、環境、経済等を包含したライフステージを通じて切れ目のない、未来に希望が感じられ、安心して暮らせる環境づくりを進めていく。